

「テスト自動化によるエンジニア のしあわせのかたち」

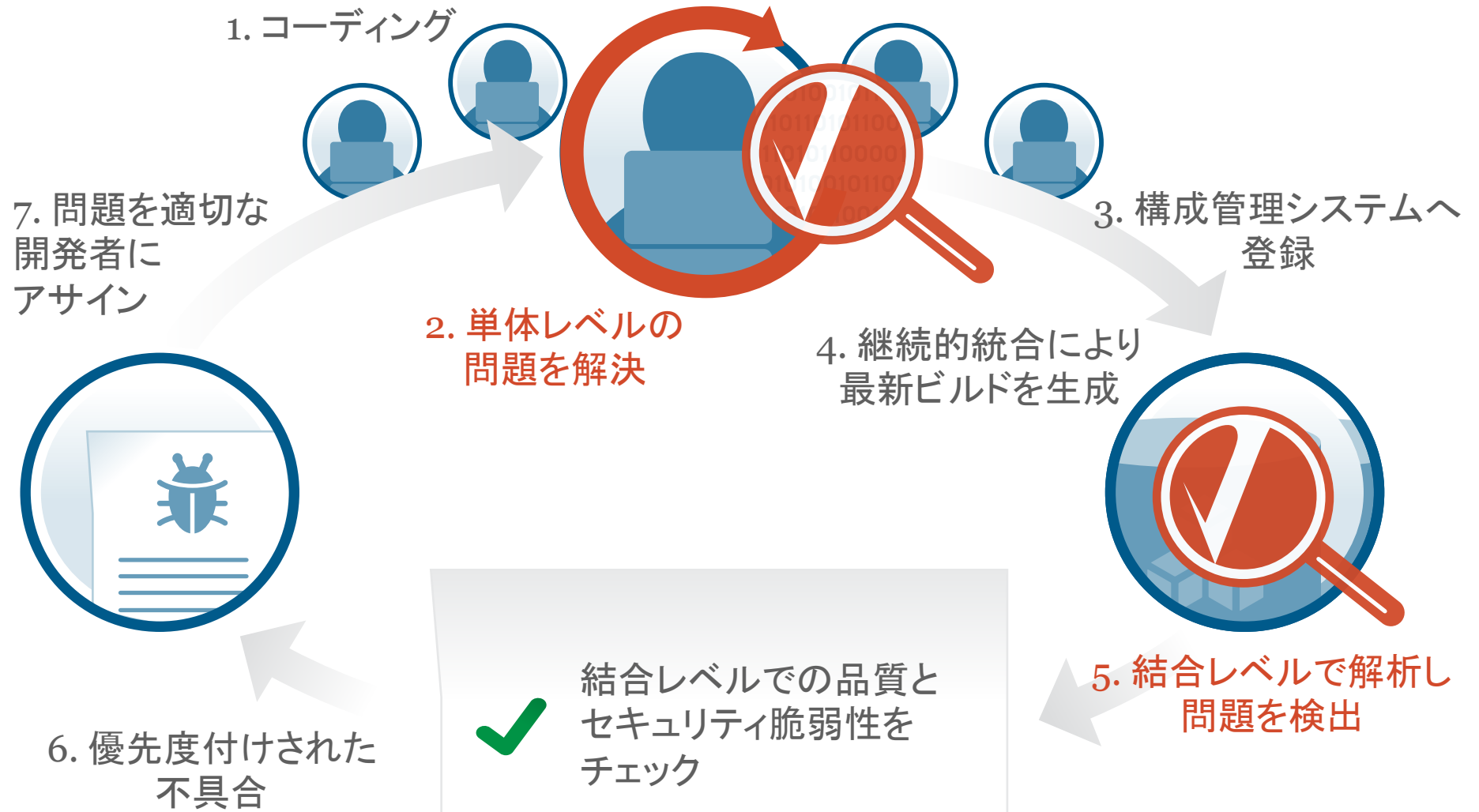


Coverity は

静的解析で

テストを 楽しみにします

静的解析を取り入れたワークフロー

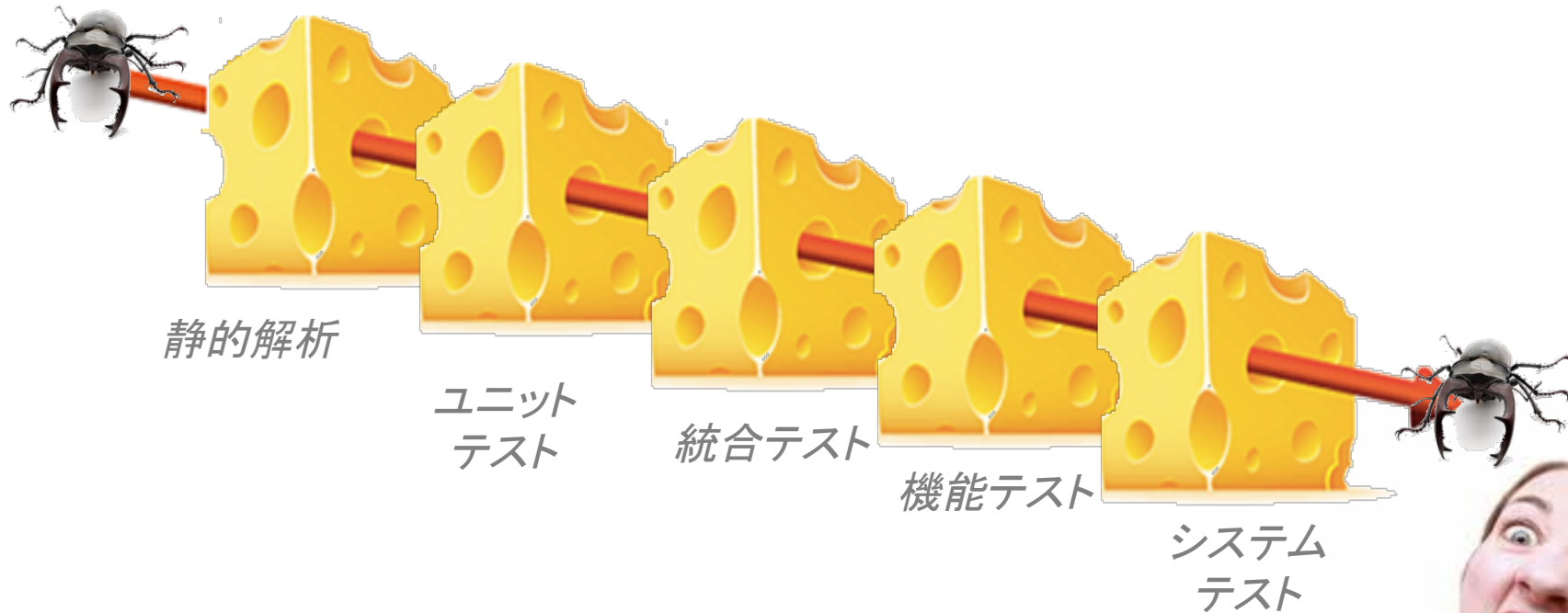


でも、
静的解析は
誤検出が多いのでは？

いいえ。
コベリティの静的解析は、

誤検出率： **15% 未満です**

それでも、



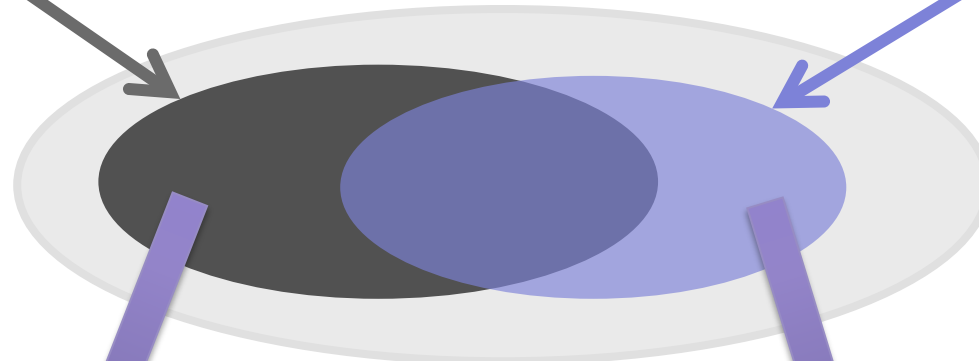
すり抜けてしまう バグがあります



アプリケーションの
一部を変更しても



テスト領域とは
完全には一致しません



アプリケーションコード

バグの **16%** は、
テストしていない
箇所で発生

テストの **30%** は
変更コードと
無関係

コードの変更は
新しい不具合を生みます

変更箇所 を **確実に**

テストする事が大切です



Coverity が

皆様のしあわせの
お役に立ちます